

平成30年第4回木津川市議会定例会 開会あいさつ

みなさん、おはようございます。

本日ここに、平成30年第4回木津川市議会定例会をお願いいたしましたところ、議員の皆様には何かとご多用のところご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。

市内の紅葉も、見頃を終え、いよいよ冬の到来を感じる季節となりました。これからは、日ごとに寒さが増してまいります。議員の皆様には、くれぐれも体調にご留意いただきますようお願い申し上げます。

それでは、本定例会冒頭の貴重なお時間をいただきまして、市政の状況などにつきまして、ご報告させていただきます。

まず、「木津川アート2018について」でございます。

木津川アート2018は、近隣の大阪をはじめ、奈良、滋賀、和歌山のほか、遠くは福岡や東京など、日本各地から前回は1,850人上回る11,872人もの方々にお越しいただきました。

特に大阪からの来訪者が全体の15%と大きく増加したところでございます。

今回は、従前からの広報活動と併せまして、京都府や京都府観光連盟、お茶の京都DMO等の積極的な支援を得まして、大阪駅中央口の電子広告やポスターの掲示、電車の中張り広告等ターゲット地域を意識した広報戦略が、大きく来訪者の増加に寄与したものと考えております。

アンケート結果からは、『アートを楽しむのと同時に、これまで知らなかった場所、道、風景を知ることができた』など、好意的なお声を多数いただきました。

また、子育て中の女性から瓶原地域で子育てをしたいとお声も多数いただきました。

これらは、参加していただいた作家の皆様をはじめ、木津川アートを支えていただいた多くのボランティアスタッフの皆様、そして、恭仁っ子大作戦を始めとする瓶原地域の皆様方に準備段階から一丸となってお協力を賜り、取り組んでいただいた成果であると、心より感謝申し上げます。

1300年前の都が、木津川アートを通して、人々が集い交流する場として、再びアートの都として生まれ変わり、市の魅力発信につながった事を大変嬉しく思っております。

今後もこの流れを地域の皆様と移住促進に繋げていくことが、何より重要であると考えております。

次に、「第2次 木津川市総合計画について」でございます。

平成21年3月に策定しました「第1次木津川市総合計画」の計画期間が、平成31年3月で終了いたしますことから、昨年度から第2次木津川市総合計画の策定作業を進めてまいりました。

これまで、市民の皆様や中学生を対象としたアンケート調査 また地域ワークショップの結果を踏まえまして6回の総合計画審議会におきまして、慎重なご議論を賜り、将来像

を「子どもの笑顔が未来に続く 幸せ実感都市 木津川」と決定いただきますとともに、将来人口を8万人とする第2次総合計画（案）を策定いただいたところでございます。

この案につきまして、パブリックコメントを去る11月12日から12月11日までの期間で実施するとともに、市内3会場で市民説明会を開催させていただきました。

今後、パブリックコメント終了後に市民の皆様から賜りましたご意見も踏まえながら、第7回総合計画審議会でご審議・とりまとめをいただきまして、ご答申をいただく予定でございます。

その後、議会基本条例に基づき、平成31年第1回定例会に関連議案をご提案させていただきますまして、ご審議賜りたいと考えております。

次に、「木津川市台風等風水害に備えたタイムライン防災行動計画の策定について」でございます。

国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所様にお力添えいただきまして、災害の発生を前提に防災関係機関が連携して、災害時に発生する状況を予め想定し、共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理した計画、所謂、タイムラインの策定に向けまして、検討を重ねてまいりましたところ、11月27日の会議におきまして取りまとめたところでございます。

今後は、地域長会や自主防災会等に説明を行うなど、来年の出水期に向けまして、いざという時に、迅速かつ的確な防災行動がとれるよう、関係機関との連携を深めてまいりたいと考えております。

さて、本定例会にご提案いたしております、議案につきましては、お手元にお届けいたしておりますとおり、同意2件、諮問2件、議案19件、報告3件となっております。

詳細につきましては、後ほど、ご説明させていただきますので、よろしくご審議いただき、全議案、ご同意、ご議決いただきますようお願い申し上げまして、簡単ではございますが、今定例会の開会のごあいさつとさせていただきます。